

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岐阜県

行事名称	第62回文化財防火デー訓練
実施期間・日時	平成28年1月26日(火) 10:00~11:30
実施場所	国指定重要文化財 和田家
主催者	和田家、高山消防署白川出張所、白川村教育委員会

■実施内容

訓練の想定

和田家(台所)より出火し、管理者である和田正人さんは初期消火を実施し、家族が119番通報及び避難誘導、非常持出訓練を実施する。付近の住宅への延焼危険が大である。

訓練の内容

和田家の管理者(和田正人)が火災確認し、初期消火(水消火器)、避難誘導、重要物品持ち出し(段ボール箱による仮物)和田家の村民により119番通報、荻町地区放送員により火災発生放送の実施。出張所、消防団による放水、中継送水訓練を実施。

参加者及び役割分担

文化財管理者	2名: 火災確認、119番通報、初期消火、避難誘導、重要物品搬出
荻町地区放送員	1名: 荻町地区火災発生放送の実施
白川出張所	10名: 全体統括、放水訓練、講評、安全管理者
白川村消防団	27名: 放水訓練
鳩谷駐在所	2名: 交通整理
白川村教育委員会	1名: 現場立会

特に工夫した点

- ・荻町地区にある放送設備を使用し、実際に村民に火災発生の周知を実施した。出張所、消防団の連携強化の為、中継訓練を実施した。
- ・消火栓ではなく、あえて自然水利を使用し消火活動を行った。

問題点・課題

- ・訓練会場は観光客が多く集まるスポットであり、当日も多くの観光客が集まっていた。観光客に対する誘導員の配置が必要であった。
- ・交差点進入時のスピードが速かった。落ち着いた作業が求められる。
- ・車輛のサイレンと鐘は同時に鳴らす必要があった。(サイレンのみだった。)

その他

- ・昨年度から、文化財防火デーの日に合わせて実施をしている。地元消防団や地区住民の文化財に対する防災意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会になっており、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



初期消火訓練



大郷分団 放水の様子